

# 千葉市立稲毛国際中等教育学校移行 基本計画

令和3年4月

千葉市教育委員会

## はじめに

千葉市立稲毛高等学校は、昭和54年に開校して以来、社会の変化や教育改革に対応して、国際教養科の設置や教育課程の改善、附属中学校の設置など、市民の期待に応える様々な改革を実施してきた。

中高一貫教育校で認められている教育課程の特例を生かし、6年間を見通した柔軟な教育課程の編成、特色ある学校設定科目の設置、総合的な探究の時間における発達段階に応じた課題発見・解決型学習等に取り組んでおり、その結果、知識・技能のみではなく思考力・判断力・表現力や豊かな人間性を備え、様々な分野で活躍する多くの人材を輩出してきている。

「超スマート社会」と呼ばれる Society5.0 時代が訪れようとしている中、稲毛高等学校・附属中学校が中高一貫教育に対する市民ニーズにより一層対応するとともに、中高一貫教育の特性をさらにいかすことができるよう検討を進めてきたところであり、千葉市学校教育審議会における市立高等学校改革に関する提言も踏まえ、稲毛高等学校・附属中学校を中等教育学校へ移行することとした。

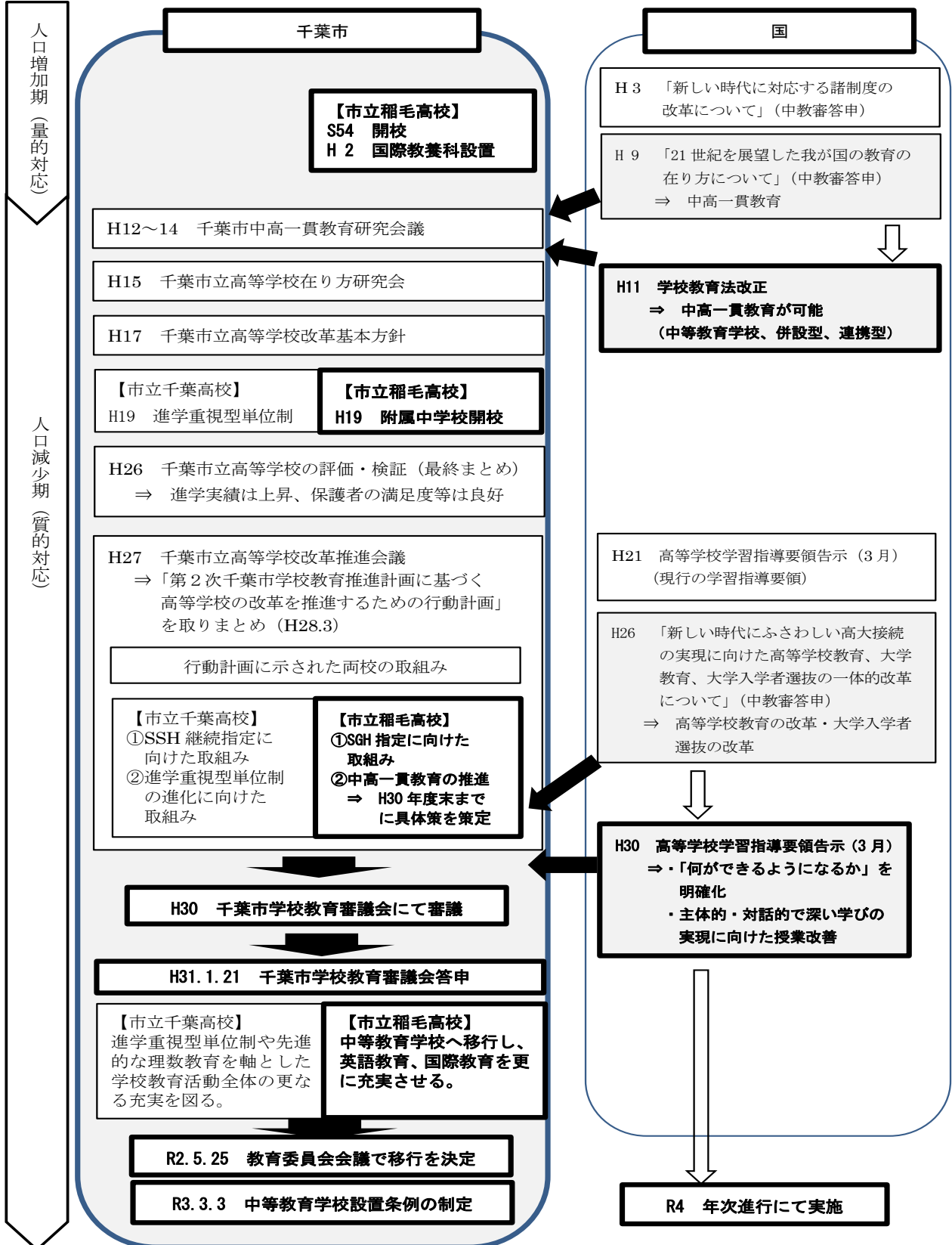
本計画は、中等教育学校の概要、教育方針、大規模改修工事の内容などに関する基本的事項を定めたものである。

## 目次

はじめに	1
1 これまでの市立高等学校改革の取組み	3
2 中等教育学校移行の基本的な枠組み	5
(1) 基本方針	
(2) 中等教育学校の概要	
(3) スケジュール	
3 中等教育学校が目指す教育	7
(1) 学校像	
(2) 育成する生徒像	
(3) 特色ある教育活動	
(4) 教育課程（案）	
(5) その他	
4 入学者選抜の在り方	10
(1) 検査内容	
(2) 選抜方法	
5 大規模改修工事	11
(1) 改修のポイント	
(2) 大規模改修工事後の教室等配置	
(3) 概算費用	
別紙1 大規模改修工事後の校舎等配置	15
別紙2 大規模改修工事スケジュール	16
別紙3 仮設校舎配置図	17

# 1 これまでの市立高等学校改革の取組み

これまでの市立高等学校改革の取組みについて、稲毛高等学校を中心にまとめる  
と以下のとおり。



(参考) 千葉市学校教育審議会答申「市立高校改革の方向性」(平成 31 年 1 月 21 日)

(市立稲毛高等学校・附属中学校関連部分抜粋)

## (2) 改革への提言

### ① 基本的な方向性

中高一貫教育への市民ニーズに対応するとともに、中高一貫教育の特性がさらに生かせるよう、現在の併設型中高一貫教育校から中等教育学校へ移行させる。

その際、後期課程では、現在高等学校に設置している国際教養科を廃止して普通科のみとするが、国際教養科の成果を生かし、これまでの英語教育、国際教育をさらに充実させ、グローバル・リーダーの育成を目指す。

### ② 具体的な取組み

ア 中等教育学校へ移行させ、中高一貫教育校の教育課程上の特例を十分に活用した教育課程を編成することにより、学習内容を深め、幅広い教養を身に付けた人材を育成する必要がある。

そのため学校では、次のような取組みについて検討する必要がある。

- ・前期課程と後期課程間の指導内容の重複の解消、教科内容の組み換えによる系統的な学習指導内容などのカリキュラム開発 など

また、上記の取組みを推進するため教育委員会においては、次の点について検討する必要がある。

- ・中等教育学校への移行に向けての制度設計
- ・カリキュラム開発への支援
- ・移行期を含めた教職員人事への配慮
- ・施設設備の改修を含む教育環境の整備 など

イ 6年間の学びの連続性を生かし、将来を見据えた探究活動を生徒の発達段階に応じて計画的に実施することにより、グローバル・リーダーとして必要な資質・能力を育成する必要がある。

その中には、質疑応答やディスカッションができる能力、探究活動の成果を千葉市や企業等に提言して実現に向けて行動を起こすことができる力が含まれると考える。

そのため学校では、次のような取組みについて検討する必要がある。

- ・千葉市や大学・企業等と連携し、身近な地域課題からグローバルな社会課題をテーマとした国内及び海外でのフィールドワークや調査研究の実施 など

また、上記の取組みを推進するため教育委員会においては、次の点について検討する必要がある。

- ・「チーム学校」の取組みへの支援 など

ウ グローバル社会や多文化共生社会の一員としての視野を広げることのできる教育環境を整え、英語でディスカッションできる人材を育成する必要がある。

そのため学校では、次のような取組みについて検討する必要がある。

- ・留学生の受入れや外部人材の積極的活用
- ・海外の大学進学へも対応できるカリキュラムの検討 など

また、上記の取組みを推進するため教育委員会においては、次の点について検討する必要がある。

- ・各学年 1 名程度の外国人講師配置
- ・中国語等の英語以外の言語科目の設定や当該言語の外国人講師の配置  
など

## 2 中等教育学校移行の基本的な枠組み

### (1) 基本方針

- 中高一貫教育への市民ニーズに対応するとともに、中高一貫教育の特性がさらに生かせるよう、これまでの伝統、附属中学校のメリット、国際教養科の教育資産を融合し発展させる形で、千葉市立稲毛高等学校・附属中学校を中等教育学校へ移行する。
- 校舎について、劣化が進んでいる箇所が多いため、中等教育学校への移行を機に、大規模改修工事を実施する。

### (2) 中等教育学校の概要

- ① 校名  
千葉市立稲毛国際中等教育学校
- ② 設置場所  
千葉市美浜区高浜3丁目1番1号  
(現在の千葉市立稲毛高等学校・附属中学校の敷地)
- ③ 後期課程における課程及び学科  
全日制の課程  
普通科 ※ただし、単位制とする。
- ④ 定員  
1学年160人(4学級)
- ⑤ 学区  
千葉市内
- ⑥ 開校時期  
令和4年4月

(3) スケジュール

令和4年4月に中等教育学校の1年生が入学し、その後、年次進行で中等教育学校に移行していく。中等教育学校の生徒の入学に合わせて、高等学校の募集定員を2学級減とする。令和7年度には、中等教育学校の生徒が後期課程へ進級することに伴い、高等学校の募集を停止する。令和9年度には、6学年の全てが中等教育学校となる。

学校規模でみる中等教育学校への移行スケジュール

※表中の数字は学級数。

年度		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	中等教育学校	
高等学校	3年	8	8	8	8	8	6	6	6	4	4	6年	後期課程
	2年	8	8	8	8	6	6	6	4	4	4	5年	
	1年	8	8	8	6	6	6	4	4	4	4	4年	
附属中学校	3年	2	2	2	2	2	4	4	4	4	4	3年	前期課程
	2年	2	2	2	2	4	4	4	4	4	4	2年	
	1年	2	2	2	4	4	4	4	4	4	4	1年	
学校規模		30	30	30	30	30	30	28	26	24	24		

4月  
開校

※色がついている部分が中等教育学校の部分

[移行期における学校の存立状況]

期間	中等教育学校	高等学校	附属中学校
令和3年度まで	—	○	○
令和4・5年度	○	○	○
令和6～8年度	○	○	—
令和9年度以降	○	—	—

### 3 中等教育学校が目指す教育

人工知能（AI）やビッグデータ等の先端技術が高度化し、あらゆる産業や社会生活に取り入れられた Society5.0 時代が到来しつつあり、今後、社会の変化は加速度を増し、現在の子供が大人になる頃には、社会の在り方そのものが現在とは劇的に変わり、これまで人類が経験したことの無い時代となっていると考えられる。

稲毛国際中等教育学校では、このように複雑で予測不可能な時代の中で、子供たち自身が未来を切り拓くリーダーとなり、幸せで豊かな人生を生きていくために必要な力を育成する。

幅広い教養と国際的視野を身に付け、主体的に物事に取り組み、多面的・多角的に課題解決に向かい、ワールドワイドに情報発信でき、継続的に努力できる人間を育成することを目指す。

#### （1）学校像

地域・世界・未来を切り拓くグローバル・リーダーの育成

#### （2）育成する生徒像

高い志を持ち、幅広い教養を身に付け、未来を切り拓いていく生徒

#### （3）特色ある教育活動

豊かな国際感覚を身に付けたグローバル・リーダーとなるためには、

- 「1 自分たちのことを理解する姿勢」
- 「2 異文化を理解する姿勢」
- 「3 コミュニケーション能力」

を育成することが重要であり、以下のような特色ある教育活動を行っていく。

- ① 地域や世界の視点に立ち様々な課題を探究する課題発見・解決型学習  
～様々な体験の機会が生徒の興味・関心を引き出す～

ア 社会課題・世界的課題を深く考える体系的な探究活動により、千葉市から世界へと視野を広げ、未来を切り拓く力を育成（6年間を通じた体系的な探究活動として「Inage Quest」を創設）

イ 最新の設備を備えたアクティブラーニングルームなど、生徒の主体的・協働的な学びを引き出す様々な設備を活用



ウ 前期課程のみならず後期課程についても、1人1台端末の活用により、これまでの教育実践と最先端のICTをベストミックスさせ、個別最適な学び、協働的な学び、創造性を育む教育を推進

- ② 中高一貫教育の特性を生かした国際教育  
～世界に触れることができる機会の充実～

ア 全ての生徒が海外研修に行くなど世界に直に触れる機会を充実

イ 前期課程からネイティブ教員単独によるオールイングリッシュの授業を展開

- ③ 次世代の社会を支える資質・能力を育成する幅広い教養の育成  
～夢の実現に向けた力の育成～

ア 早期に基礎的学力を着実に育成し、応用力を育む学習に注力できるカリキュラム編成（3年次の国社数理英において発展科目を創設）

イ 後期課程への単位制導入により、各自の興味・関心に応じて学び、文・理に偏らない幅広い教養を習得

ウ 複数の言語から選べる第二外国語の授業を選択可能

#### (4) 教育課程（案）

令和4年度中等教育学校入学生対象教育課程

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
前期課程	1年	国語 (140)		社会 (105)		数学 (175)			理科 (140)			保健体育 (105)		音楽 (45)	美術 (45)	英語 (175)			技術家庭 (70)		道徳 (35)	Inage Quest (50)	L	H	R							
	2年	国語 (140)		社会 (105)		数学 (175)			理科 (140)			保健体育 (105)		音楽 (35)	美術 (35)	英語 (175)			技術家庭 (70)		道徳 (35)	IQ (70)	L	H	R							
	3年	国語 (105)	発展国語 (35)	社会 (105)		発展社会 (35)	数学 (105)	発展数学 (70)		理科 (105)	発展理科 (35)	保健体育 (105)		音楽 (35)	美術 (35)	英語 (105)		発展英語 (70)		技術家庭 (35)	道徳 (35)	IQ (70)	L	H	R							
後期課程（単位制）	4年	※現代の国語 (2)	※言語文化 (2)	※歴史総合 (2)	※公共 (2)	※数学I (1)	数学A (2)	数学II (2)	※化学基礎 (2)	※体育 (3)	※保健 (1)	※芸術I選択 (2)	※英語コミュニケーションI (1)	論理・表現I (2)	英語コミュニケーションII (2)	※家庭基礎 (2)	※情報I (2)	I	Q	L	H	R										
	5年	論理国語 (4)		※地理総合 (2)	政治・経済 (2)	数学II (2)	数学B or 日常英語 (2)	※生物基礎 (2)	※物理基礎 or 地学基礎 (2)	※体育 (3)	※保健 (1)	芸術II or 第二外国語 (2)	英語コミュニケーションII (2)	論理・表現II (2)	世界史探究 or 日本史探究 or 化学 (4)		L	H	R													
	6年文系	※体育 (2)	英語コミュニケーションIII (4)		論理・表現III (2)	選択α (文学国語(4)+古典探究(4)+(化学/生物/地学)(4)から1科目)						選択β 4単位(国語表現・地理探究・世界史探究・日本史探究) 2単位(倫理・政治経済特講・数学研究A・数学研究B・化学特講・芸術III・英語研究・第二外国語)(10)					I	Q	L	H	R											
	6年理系	選択α (数学III(5)+数学C(2)+(物理/生物)(5)から1科目)																L	H	R												

後期課程において「※」が付されているものは、法令上の必修科目

#### (5) その他

校歌、校章、校旗、制服については、これまでの伝統を継承しつつ、新しい中等教育学校にふさわしいものとするため、以下のとおりとする。

① 校歌

現在の校歌を採用する。

② 校章

現在の校章のデザインをもとに、「稲国」の文字を入れたものとする。

③ 校旗

新しい校章を付した校旗とする。

④ 制服

現在の中学校又は高等学校の制服を採用し、ネクタイを着用し、スラックス又はスカートの着用は選択制とする。

## 4 入学者選抜の在り方

稲毛国際中等教育学校が目指す「学校像」や「育成する生徒像」を踏まえて、志願者の能力、適性、意欲等を総合的に判定できるような検査を実施する。

### (1) 検査内容

#### 【一次検査】

適性検査Ⅰ 45分	文章や図・表・データの内容を的確に読み取り、分析したり、文章で表現したりする力をみる。
適性検査Ⅱ 45分	自然科学的、数理的な問題を分析し考察する力や、解決に向けて思考・判断し、的確に表現する力をみる。

#### 【二次検査】

適性検査Ⅲ 45分	<ul style="list-style-type: none"><li>・小学校の外国語活動や外国語科の授業で学習した内容を基に、思考・判断する力をみる。</li><li>・自分の思いや考えが明確になるように、文章の構成や展開を考え、筋道の通った日本語の文章を書く力をみる。</li></ul>
面接	将来の進路に対する目的意識、学ぼうとする意欲、聞く力・話す力等をみる。

### (2) 選抜方法

- ① 一次検査の結果を資料とし、二次検査受検候補者を選抜する。なお、二次検査受検候補者は募集定員の2倍程度とする。
- ② 小学校等の校長の作成した報告書、志願者から提出された志願理由書等の書類の審査並びに一次検査及び二次検査の結果を資料とし、志願者の能力、適性、意欲等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。

## 5 大規模改修工事

千葉市立稲毛高等学校及び附属中学校の校舎は、昭和54年の竣工から現在まで42年が経過しており、竣工後、建築・電気・機械ともに必要に応じて修繕などが行われてきたが、劣化が進んでいる箇所が多く、また、既に更新時期を超えている部位も多々見られ、今後も劣化が進んでいくものと考えられることから、大規模改修工事を実施する。

大規模改修工事の予算には限りがあるが、今後新しい中等教育学校として長期間使用していくことを踏まえ、それにふさわしい校舎となるよう全面的に改修を行うこととする。なお、工事期間中、在籍生徒にできる限り不利益や悪影響がないよう最大限留意する。

### (1) 改修のポイント

生徒が学びやすく、教職員が働きやすい教室配置にする

- ① 校舎改修  
床、壁、天井、外壁、機械・電気等の設備の改修
- ② バリアフリー化  
段差の解消、エレベーターの設置
- ③ 少人数対応教室の整備  
空教室を半分に仕切るなど単位制実施に伴う選択科目増加や少人数授業を可能とする教室の設置（生徒が自習等に活用できるスペースとしても活用）
- ④ アクティブラーニングルームの整備  
学習の内容に応じて集団での学習やグループ学習が可能となるような広さを変えられる多目的教室の設置
- ⑤ 前期課程の給食施設の整備  
給食棟での合同給食に代え、各教室での給食を実施するための設備の整備
- ⑥ グラウンド整備  
仮設校舎の撤去後のグラウンドについて全体的な整備

⑦ 魅力的なICT環境整備

すべての生徒が1人1台の端末を持ち、それらを常時同時に使用して質の高い学習を行うことができるよう、大容量のネットワーク環境の整備や教室への電子黒板等のICT機器の設置

(2) 大規模改修工事後の教室等配置

主な新規整備箇所は以下のとおり。※詳細は別紙1参照

① バリアフリー化

ア 車椅子利用可能な通路整備

- 1階 普通教室棟～工芸棟
- 普通教室棟～特別教室棟（2か所）
- 特別教室棟

イ スロープ設置

- 2階 普通教室棟～体育館
- 特別教室棟～体育館
- 第2特別教室棟～体育館

ウ エレベーター設置

- 普通教室棟及び特別教室棟

② 少人数対応教室の整備

- 1階 2室
- 2階 1室
- 3階 3室
- 4階 4室

③ アクティブラーニングルームの整備

- 4階 特別教室棟

④ 前期課程の給食施設の整備

- 1階 給食受取口兼一時保管場所設置
- 2階～3階 給食保管場所設置

### (3) 大規模改修工事のスケジュール

大規模改修工事に関する主なスケジュールは以下のとおり。※詳細は別紙2参照

令和3年度	耐力度調査実施
令和4年度	千葉市立稲毛高等学校・附属中学校の中等教育学校への移行に伴う校舎改修実施設計策定
令和5～6年度	校舎等大規模改修工事実施
令和7～8年度	グラウンド等外構工事実施

### (4) 工事期間中の教育活動

#### ① 中学校段階の生徒

大規模改修工事中は、グラウンドをはじめ教育活動で利用できる場所が限られることになることから、近接する旧千葉市立高洲第二中学校の校舎やグラウンドが活用できることから、よりよい教育環境を実現するため、中学校段階の生徒については、旧高洲第二中学校跡地に移動し教育活動を行う。

旧高洲第二中学校の校舎では、現在は使用していない普通教室も使用することとなるが、それらの教室は空調設備がなく、床がはがれており危険な状態であることから、空調設備の設置、劣化が進んでいる床や外壁の補修、給水設備に関する対応（具体的な内容はその時点での給水設備の状況を見て判断する）を行うとともに、少人数教室用の仮設校舎を建設する。

なお、高等学校段階の生徒について旧高洲第二中学校跡地に移動し教育活動を行うことについては、必要な教室数が確保できない（20学級分必要であるが、旧高洲第二中学校は12学級対応校舎である）ことから不可能である。

#### ② 高等学校段階の生徒

現在の敷地内に仮設校舎を建設し、高等学校の教室等を移設し、教育活動を行う。

改修工事中の騒音や振動により、生徒の教育環境が悪化することがないように、改修工事は居ぬき工事で実施することとし、生徒は仮設校舎において全ての教育活動を行う。

#### ③ グラウンド及び体育館等について

中学校段階の生徒が旧高洲第二中学校跡地を活用したとしてもなお、大規模改修工事中は、体育の授業や部活動で使用するためのグラウンドや体育館等が

不足することが想定される。教育活動にできる限り支障がでないよう、近隣の学校やスポーツ施設を代替施設として確保する。

④ 生徒間交流について

工事期間中、中学校段階の生徒と高等学校段階の生徒の教育活動場所が離れてしまうことから、生徒間交流の機会の減少が懸念される。これについては、体育祭や文化祭などの学校行事や休日の部活動など可能な場面で積極的に生徒間交流を進めることとする。

※仮設校舎の詳細は別紙 3 参照

## (5) 概算費用

以上の内容について、概算費用を算出すると以下のとおり。

39.6 億円

(内訳)

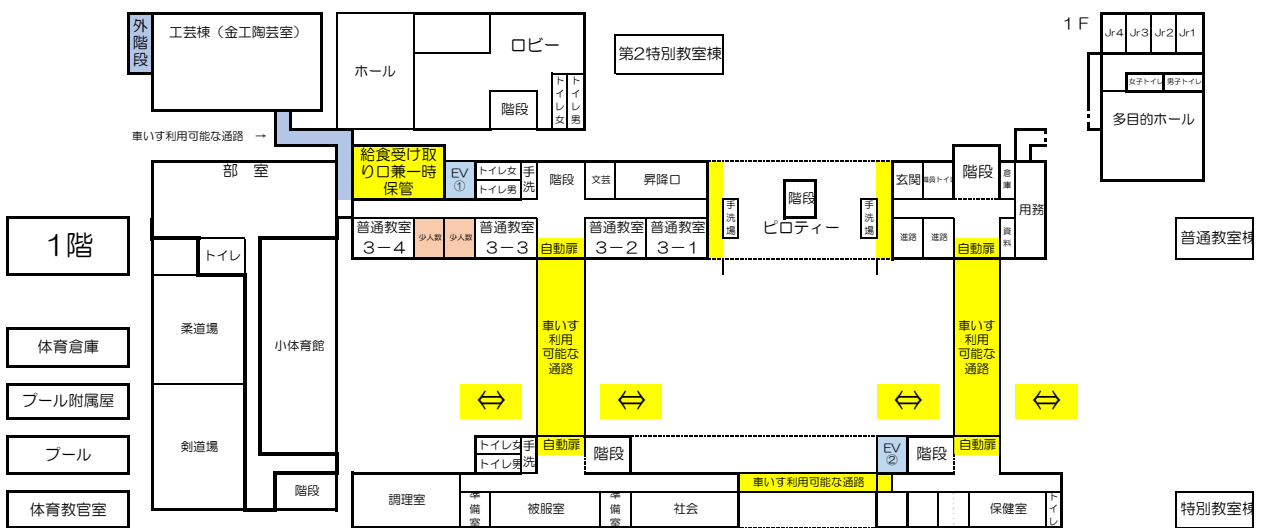
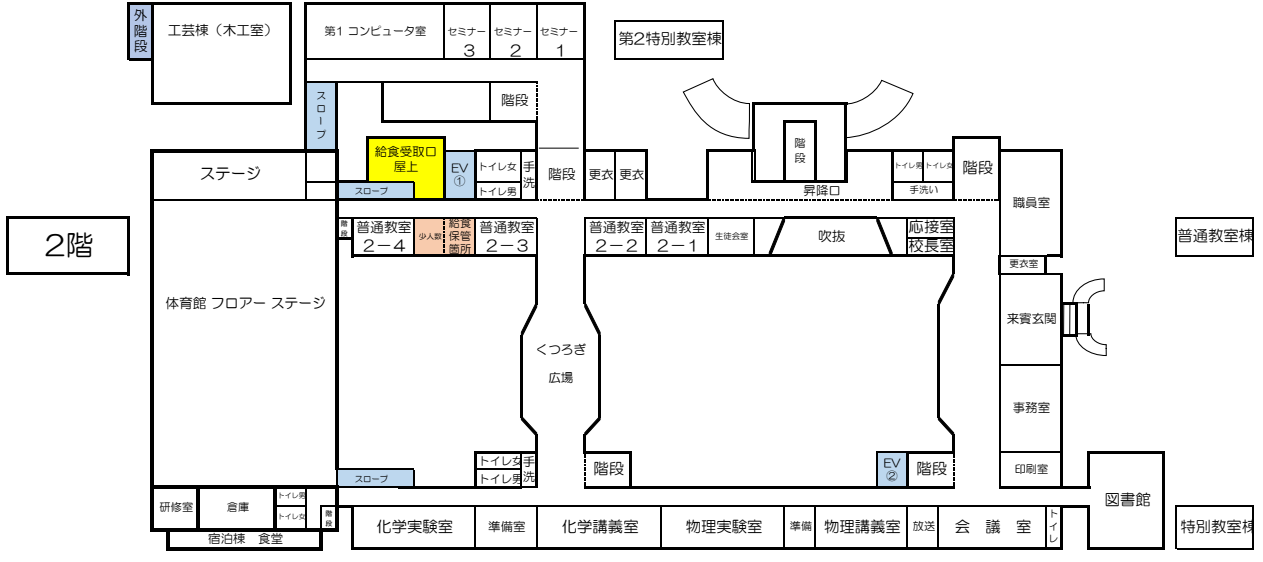
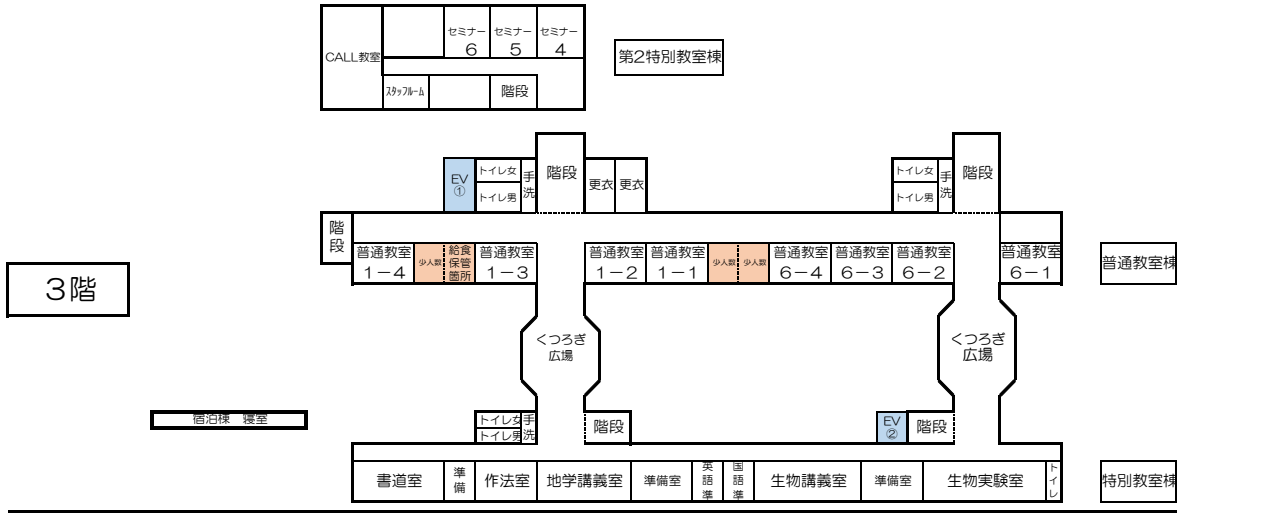
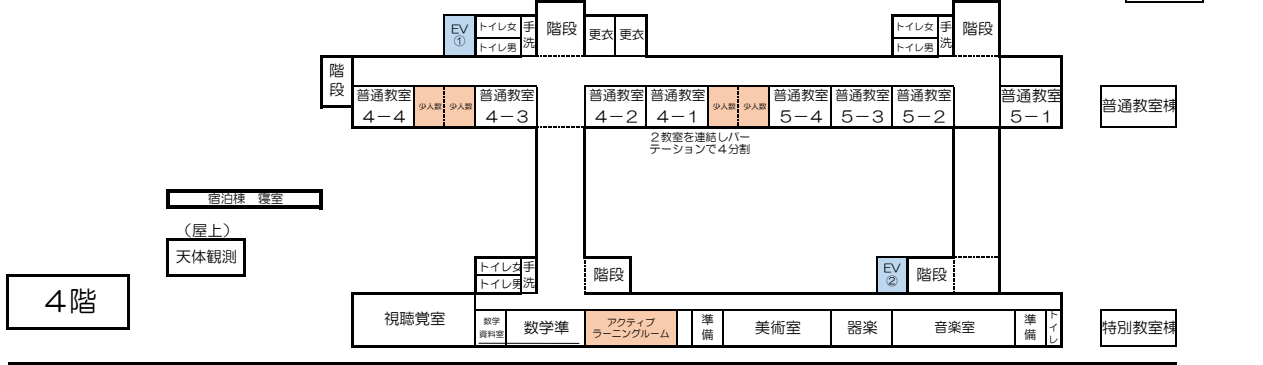
① 校舎等改修工事	23.6 億円
② 仮設校舎建設	10.2 億円
③ 旧高洲第二中学校校舎補修工事	1.0 億円
④ グラウンド整備	3.5 億円
⑤ ICTネットワーク環境整備	1.3 億円

※この他、魅力的な ICT 環境整備（電子黒板など）、各種備品購入、本校舎と仮設校舎等の間の引っ越しなどに関する費用が必要

なお、仮設校舎や旧高洲第二中学校校舎について、1 年間のみの使用であることを踏まえれば、可能な限り費用を削減することも必要であることから、将来のために現在の生徒が犠牲になることがあってはならないという前提の上、今後の実施設計や仮設校舎設計などの具体的な検討を進める中で、よりよい形で費用を削減できることが判明した場合には、積極的に改善に努めることとする。

# 大規模改修工事後の教室等配置

別紙1



※色がついている場所は新規整備箇所



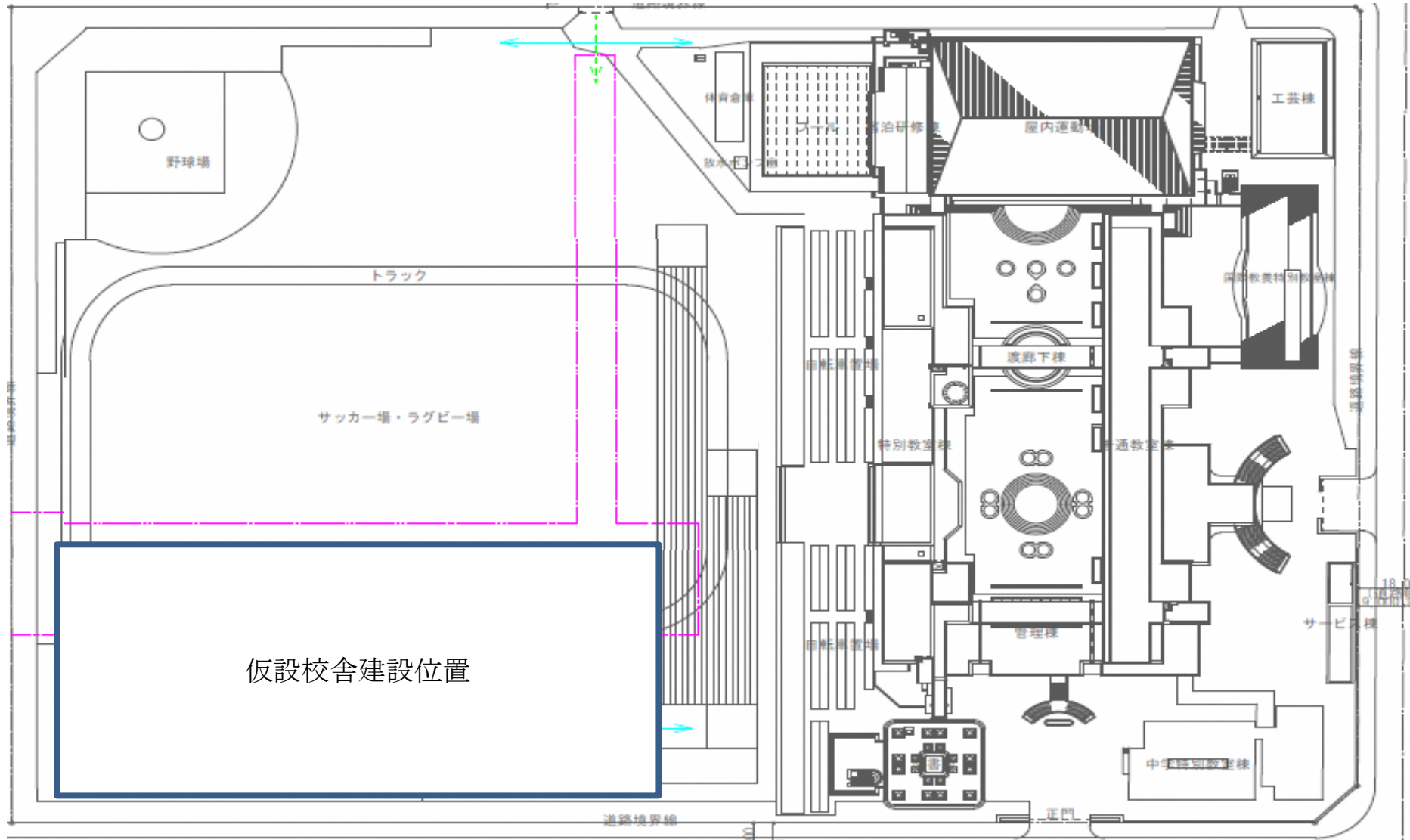
大規模改修工事スケジュール

別紙 2

16

区 分	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	令 和 6 年 度	令 和 7 年 度	令 和 8 年 度
市立稲毛高校		★中等教育学校 開校				
市立稲毛高校耐力度調査	→					
国庫補助金		○国庫補助金申請（5月）→ 実施設計費用、仮設校舎費用（大規模改修工事期間に限る）、大規模改修費用について補助				
市立稲毛高校改修実施設計		→				
仮設校舎リース						
旧高洲第二中学校校舎改修工事		→	→			
大規模改修 議決			◎3定			
大規模改修 工事				→	→	
グラウンド 測量・設計					→	
グラウンド 改修						→
市立稲毛高校のグラウンド使用			大部分使用不可（体育、部活動は代替施設で行う）			
市立稲毛高校の体育館使用				使用不可 （同上）		
授業の場所	← 稲毛校舎		← 中学生：旧高洲二中学校舎 ← 高校生：稲毛の仮設校舎		← 新校舎 →	
平成29年度附属中学入学生 令和2年度高校入学生	高校2年生	高校3年生				
平成30年度附属中学入学生 令和3年度高校入学生	高校1年生	高校2年生	高校3年生			
平成31年度附属中学入学生 令和4年度高校入学生	中学3年生	高校1年生	高校2年生	高校3年生		
令和2年度附属中学入学生 令和5年度高校入学生	中学2年生	中学3年生	高校1年生	高校2年生	高校3年生	
令和3年度附属中学入学生 令和6年度高校入学生	中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校1年生	高校2年生	高校3年生
令和4年度中等教育学校入学生		中等教育学校1年生	中等教育学校2年生	中等教育学校3年生	中等教育学校4年生	中等教育学校5年生
令和5年度中等教育学校入学生			中等教育学校1年生	中等教育学校2年生	中等教育学校3年生	中等教育学校4年生
令和6年度中等教育学校入学生				中等教育学校1年生	中等教育学校2年生	中等教育学校3年生
令和7年度中等教育学校入学生					中等教育学校1年生	中等教育学校2年生
令和8年度中等教育学校入学生						中等教育学校1年生

# 仮設校舎配置図



稻毛高等学校

旧高洲第二中学校

管理特別教室棟

理講 1	小 4	WC	音楽	音楽	楽器	国準	小 1	小 2	物準	物実	書道	書準	WC	美術	美術
------	-----	----	----	----	----	----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----

普通特別教室棟

地学	地準	WC	薬品	化学	化実	被服	調理	調理	社会	社準	小 5	WC	放送	CALL
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	------

普通教室棟

普 15	WC	普 16	普 17	普 18	普 19	普 20	ホ-ル	WC	数準	PC
------	----	------	------	------	------	------	-----	----	----	----

2階平面図

管理特別教室棟

体教	英準	WC	進資	進指	印刷	会議	教務	職更	職更	校長	事務	WC	昇 2	用務
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----

普通特別教室棟

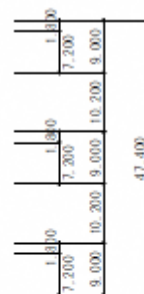
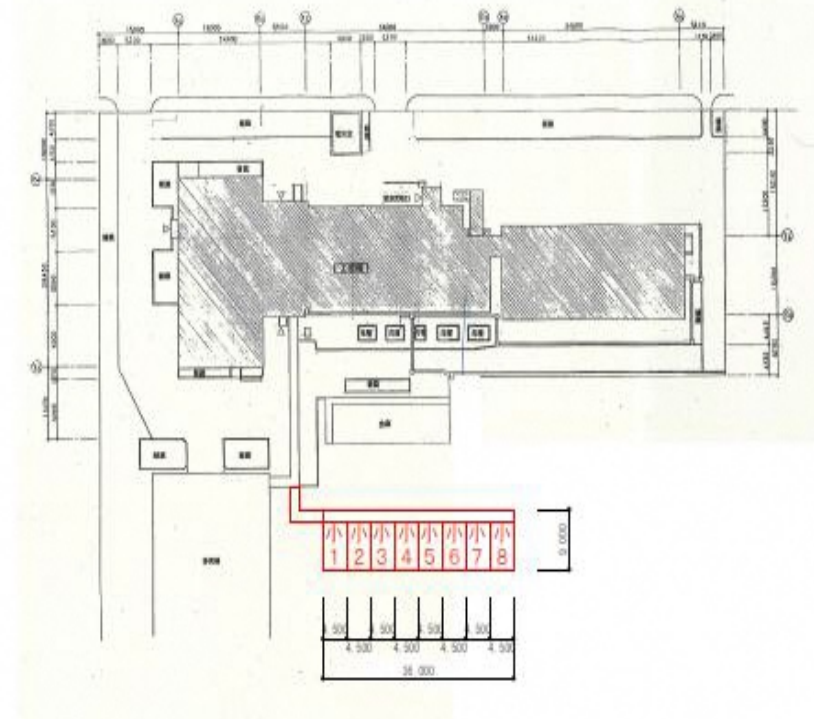
普 9	普 10	WC	普 11	普 12	普 13	普 14	理講 2	生準	生実	更 2	WC	保健	通 2	S C
-----	------	----	------	------	------	------	------	----	----	-----	----	----	-----	-----

普通教室棟

普 1	WC	更 1	普 2	普 3	普 4	普 5	普 6	普 7	普 8	更 2	WC	小 3	昇 1
-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----



1階平面図



普：普通教室  
小：少人数教室